

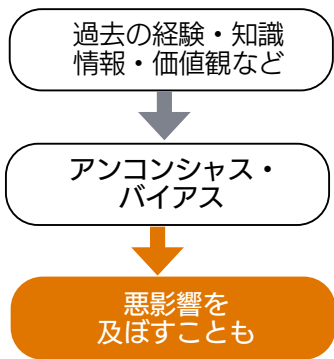
多様性を認め合う社会の実現に向けて

6月号では、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み・偏見）の事例と対処法を紹介します。

【問】市人権・同和教育推進室（☎77・8842）

アンコンシャス・バイアスとは

2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピックや、人権に関するさまざまな法律の制定をきっかけに、多様性を認め合うことの大切さが社会で再認識されています。そして、多様性を認め合う社会の実現へ向けて、「アンコンシャス・バイアス」という言葉が注目を集めています。



この言葉は、「アンコンシャス＝無意識」と「バイアス＝先入観や固定観念、思い込み」が組み合わさった言葉です。日本語では、「無意識の思い込み」と表現されることが多く、「無意識バイアス」「無意識の偏見」などと表現されることもあります。

アンコンシャス・バイアスは多くの経験や周囲の意見、日々接する情報などから形成される誰もが持っているものです。しかし、そのものが悪いわけではありません。問題なのは、自分自身のアンコンシャス・バイアスに気付かずのうちに、決めついたり相手を傷つけたりして、周りに悪影響を及ぼす可能性があるからです。



自分基準の思い込みはありませんか

- 家事や育児は当然女性の仕事だ
- ランドセルの色は、男子が黒、女子は赤だ
- 高齢になると、考え方は変わらず頑固だ
- 自分の周りには、性的少数者はいない
- 外国人労働者は、日本の文化には合わない
- 感染症にかかる人は自業自得だ

大切なのは「気付き」「学び」「変える」と

誰もが内に抱えているアンコンシャス・バイアスですが、この影響は少なくすることができず。そのために大事なものは、日頃から「これってア

心かけるポイント

- ①自分の当たり前を疑がってみる
- ②自分の当たり前で決めつけない
- ③相手の態度や表情がおかしいと感じたら、すぐ立ち止まって考える



【参考】福岡県人権教育指導者向け資料 KARA FULL

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
●編集 総務部企画課広報広聴係（直通）☎0944-77-8425 FAX74-5520
●URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail kouho@city.yanagawa.lg.jp

●発行日 令和6年6月1日
「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。



水難事故防止を願って

5月3日から5日まで、沖端水天宮大祭が開かれました。水難事故防止や無病息災などを祈願する同祭。期間中は多くの露店が並び、家族連れなどでにぎわいました。掘割に浮かべた舟舞台「三神丸」では、沖端水天宮舟舞台囃子保存会の子もたちが太鼓や三味線、横笛による演奏を披露。矢留小3年の松藤わたさんは「聞いている人が元気になるように一生懸命演奏しました」と笑顔で話しました。

市の最新情報は公式LINEで発信しています。プッシュ通知なので情報を見逃すことなく便利です。ぜひ友だち登録をお願いします。



CONTENTS	ページ
6月1日から「やな pay」スタート	2~3
防災、特定健診ほか	4~7
水都 info、まちかどレポートほか	8~13
お知らせ掲示板、活動紹介ほか	14~23